

コットン栽培マニュアル完成

昨年1年間、市内1.5haの農地でオーガニックコットンを栽培しましたが、私たちにとって農業の経験は初めて。全て手探り状態での栽培だったため多くの失敗がありました。そうした経験を踏まえたうえで、専門家のアドバイスを頂きながら、この度私達なりの栽培マニュアルを完成させました。栽培に関わる方や希望される方必見のマニュアルです。

一方昨年、市立久之浜第一小学校の5年生がプランターでコットン栽培にチャレンジしました。その際の子供たちの観察ノートの様子も紹介した栽培マニュアルも作りました。小学5年生を対象にしたもので「コットンを育ててみよう」～ぼくとわたしの育て方教室～というものです。本会では市内全小学校の5年生を対象に送付しました。自分たちが着ている衣服がどこで生まれ、最終的にはどうなるのかをこの栽培を通して学んで頂きたいと思ひます。自分たちの手で種を蒔き育てる過程を実際に体験することで、物の大切さやリサイクルの大切さを学べる筈です。

これからの循環型社会を生き抜く大切な力となることでしょう。将来このコットンがいわきの地に根づいて、地域の農業に繋がり産業として発展していく可能性を秘めたこの事業の成否の鍵を握るのは、子供たちではないでしょうか。双方の冊子を希望される方は事務局までお申し込みください。



コットンベιβ 頑張ってます！

本会が行うオーガニックコットン栽培は、昨年一年間全国からのボランティアの皆さんの応援を受け無事収穫を終えました。収穫した綿はTシャツとして間もなく出来上がりますが、その間、地元で取り組んだのが綿で作るコットンベιβ製作です。今までに4000個を作り上げ全国で販売しています。これらベιβの製作に携わって下さっているのは、仮設住宅のお母さん方や障害者施設、地域の女性の方々です。「仕事を頂いてうれしいです。みんなで集まって楽しく作れて素晴らしい」と喜んで頂いています。ところでこのベιβの人気は次のメッセージにあるようです。「ベιβから数粒の種を取って、ご自分のお庭で栽培してください」「綿が取れたらピープルに送って下さい」このメッセージに感動したとの声が事務局に多く寄せられています。



平成25年度定期総会・交流会開催のお知らせ

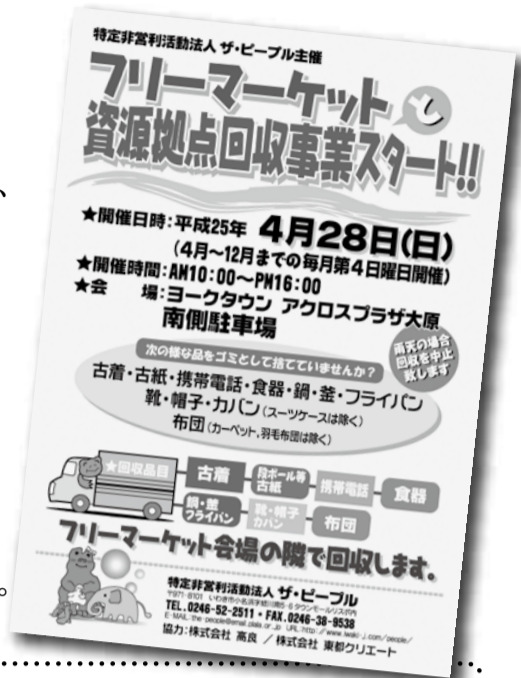
- 日 時：平成25年6月19日(水) 午後6時～午後7時～交流会を開催します (事前の申込みが必要です)
- 会 場：カルチェドシャン・ブリアン
いわき市小名浜住吉飯塚45-1

新年度のスタートにあたり会費の納入をお願いいたします。
会費：活動会費 (実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方) 2,000円/年
賛助会員 (資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員) 10,000円/年
郵便振替 (02110-0-24908) でお送りください。

資源の拠点回収事業スタート

捨てるのは「もったいない」と悩んでいた主婦の声を受け、本会が古着リサイクル事業をスタートさせたのは今から23年前です。

消費拡大社会の中で、食器、鍋、釜、フライパン、靴、バック、布団など使用しなくなった品々の処理について悩んでいる方は多いと思います。本会でもリサイクルルートとの接点が見出したいという理由からなかなか取り組めず、今日まで来ましたが、この度資源リサイクル関連事業者との連携により、定期的に本会が開催するフリーマーケットに合わせ「資源の拠点回収」をスタートさせました。是非ご利用下さい。



- 日 程 4月28日(日) 4～12月までの毎月第4日曜日
午前10時～午後16時まで
- 会 場 ヨークタウンアクロスプラザ南側駐車場
フリーマーケット会場に隣接した場所で回収します

支援事業の継続

東日本大震災から3年目に入り、建物などに関してはだいぶ復興が進んできました。しかし、原発事故のため双葉8町村からいわき市内へと避難して来られている方々の数は24,000名。未だに先の見えない状況が続く、震災の影響はまだ大きな影を落としています。本会が震災後に開設した「小名浜地区復興支援ボランティアセンター」は、その役割を終える時期には至っていないということで、今年度も(社)いわき市社会福祉協議会との協力体制のもと、その活動を継続することとなりました。

そして、「小名浜地区に住んでいる人なら、被災者・避難者・地元住民の別なく誰でも集い交流をしてもらえよう場を設けたい」との思いで平成23年11月からタウンモールリスポ2Fで行われている「小名浜地区交流サロン」の運営も、継続することとなりました。サロンを会場に、これまでは福島県保健福祉部相双保健福祉事務所が主催する形で進められていた相双地区の各町民の交流会。こちら、今年度からは「相双地区交流会」として本会主催で継続実施されることになりました。また、今年度からは福島県いわき地域振興局からの委託を受けて、借り上げ住宅にお住いの皆様と地域住民の方をつなぐ活動にも力を入れていくことになっています。これらの活動を継続するにあたっては、JPF(ジャパンプラットフォーム)・IMC(インターナショナル・メディカル・コープス)・れんげ国際ボランティア会・WE21ジャパンなどたくさんの方からのご支援をいただいております。心から御礼申し上げます。

まだまだ収束したとは言えない状況の中で、被災者・避難者の方たちにとって「いわきに住んでいることで癒される。住んでいてよかった」と思っただけのように、これからは私達なりの支援活動を進めてまいります。



- 開催日 4～5月 (毎週火曜日 但し第5火曜日は除く)
6月以降 (毎週月曜日 但し第5月曜は除く)
- 時 間 午後1時30分～3時
- 場 所 小名浜地区交流サロン (タウンモール・リスポ2F)

イベントカレンダー

- 5月 1日(水)……上荒川ヨークベニマルついたちバザー
26日(日)……ヨークタウンアクロスプラザ定例バザー
資源の拠点回収
- 6月 1日(土)……上荒川ヨークベニマルついたちバザー
15日(土)……21世紀の森復興フェスティバルフリーマーケット
23日(日)……ヨークタウンアクロスプラザ定例バザー
資源の拠点回収
- 7月 1日(土)……上荒川ヨークベニマルついたちバザー
28日(日)……ヨークタウンアクロスプラザ定例バザー
資源の拠点回収